

12月17日2学年では進路ガイダンスが行われ、自らの進路に応じて大学、専門学校等の話を聞く機会を持ちました。また、

1年生の家庭科では17日と20日に「赤ちゃん先生」の授業を実施。教室にタブレットを置き、赤ちゃん先生とオンライン交流を行いました。いずれの教育活動も生徒の経験を豊かにし、進路についての不安を取り除いたり、子育てに関する理解を得たりすることができます。このように外部の方々からの学びは、貴重な経験となります。その時々感じたことをしっかりと胸にしまっておいてください。



12月19日は「かとうもち麦フェス」がやしろショッピングパークBioであり、本校生活科学科2・3年生が販売及びうどん打ち体験、もち麦巻さずし作り体験のお手伝いに参加しました。10時30分からの販売は大盛況で、特に生菓子に列ができており、生徒たちも大変だったと思います。「勝とう丼」の方は予約制で私も「酒粕からあげ丼」と「マゴワヤサシドライカレー」を一つずつ注文させていただきました。酒粕トマトソースがとても美味しく、ドライカレーもスパシーでとても良かったです。本校生がレシピを考案し、「マゴワヤサシキッチンここから」さんが製作を担当。新型コロナがでてからこのような活動が減っていただけにありがたい貴重な経験でした。23日には、兵庫県民会館

で行われる「SDGs・気候変動×食品ロス」というテーマで兵庫県とAPN(アジア太平洋地球変動研究ネットワーク)連携フォーラムに事例発表で参加します。今のところ2年生はインターンシップにも参加予定で、少しずつですが通常の活動に戻りつつあります。まだまだ気を遣うことも多いですが、活動機会が増えることで経験を積んでいけるので体調に気を付けながら頑張ってください。先生方もよろしくお願いいたします。

20日は2年生の総合的な探究の時間の発表会を兵庫県立教育研修所をお借りて実施しました。昨年度から探究の取組を1年は加東市の政策を考慮することで、2年では「教育と探求社」が組み立てた企業のミッションを果たす探究活動を展開して発表まで結びつけることに



し、全てのプレゼンを全国大会に申し込むという流れで取り組んでこられたようです。本日の発表会には、「教育と探求社」とパナソニックからオブザーバーとしてオンラインで発表会に参加していただき、評価をいただきました。クラスで6社(ダイワハウス、フォレストアドベンチャー、吉野家、テレビ東京、大正製薬、パナソニック)からのミッションを6班に分かれて受け、企業ごとに集まった中で優秀なものを一つ選んで、今日の発表会に結び付けたようです。本日の最優秀賞受賞班は大正製薬のミッションをプレゼンした班だったそうです。生徒たちの反応も良かったようで、今後これをどのように展開していくかを考え、進路実現につなげていければと思っています。お疲れ様でした。

12月21日には体育科がインスパイアハイスクール事業で本校卒業生の理学療法士長井優貴先生に来ていただき、プロの選手になるために必要な要素として関節可動域を広げる大切さについて実技を交えながら講演していただきました。技術、力、動き、可動域の要素が



あり、多くの方が技術に目が行きがちだが、それは関節可動域が広いという前提の上に成り立つという話でした。当然のことながら動きをよくするためには柔軟性も必要ですし、力を発揮するためには正しい動きが必要と

なります。体育科の生徒たちにとって、一番大切なことを話していただいたように思います。練習前に取り入れる柔軟やストレッチ、体操などの準備運動の時に気を付けることやその動きをするための予備的な運動について教えていただいたことで、ケガを少なくできるでしょう。講演後校長室で話をしましたが、とても研究熱心で、今後の活躍に期待が持てる方でした。ありがとうございました。

そして12月22日は今年度の冬至です。7時03分日の出、16時53分日の入という事です。日照時間は9時間50分。夏至の時とは約5時間の差があるそうです。1年の流れは速いです。明日を境に少しずつ日が長くなっていきます。寒さは続きますが、確実に春はやってくるのです。また今の季節、空気が乾燥しているせいで、夜空にきらめく星が奇麗です。月も大きく私たちを照らしてくれています。先日、2日連続で流れ星を見ることができました。願い事をする時間はなかったのですが、とても良い気分になしてくれました。あと10日余りで2021年も終わります。今年1年の振り返りをしっかりと、2022年に備えましょう。新型コロナも新しい変異株が入って来るなどまだまだ先が見通せません。兵庫県は今のところ落ち着きを保っていますが、どうなるかはしばらくは見守る必要があります。今まで通りの感染防止対策をしっかりと取りながら、教育活動が進めていけるようにしていきたいと考えていますので、感染が少ないからと気を緩めずに緊張感を持続できるよう協力をお願いします。